

1. 正楽寺略年史

もとは大草四ヶ寺七坊のひとつ

最明寺・光明寺・長来寺・観音寺/南城坊(浄土寺)・元坊・道信坊・向坊・赤井坊・東之坊・西之坊(正楽寺)

1232(貞永元)年 当寺**祐海**のとき親鸞聖人矢作(柳堂)へ 浄土真宗に改宗
蓮如が土呂 西端辺来錫のころ当寺**九代祐蓮**のころ、蓮如の教えをこう

1563(永禄 6)年 **十二代性空**のとき三河一向一揆により西之坊全焼

1602(慶長 7)年 天野又太郎長一(**十四代祐染**)、教如の弟子となる

1605(慶長 10)年 祐染のとき、父長国の法名「**正楽**」を寺号とする

1617(元和 3)年 祐染、宣如のお供で江戸將軍家へ

祐染…俗名、天野又太郎長一、徳川家旗本、教如のとき出家(一名玄保) 天野家は伊豆国に住し、のち二十六代目の遠貞三河国岩戸の城主となる この時夢を縁に紋所を「三蓋松」とする 後裔が祐染である 同族の天野三郎兵衛景康は三河三奉行のひとり

1741(寛保元)年 **十七代玄海**死去 この代五間六間の本堂再建

1801(享和元)年 当寺庫裡改築

1808(文化 5)年 本堂(現存)落成 願主は**二十代玄道**

1813(文化 10)年 梵鐘改鑄 鑄場は大草本田の**月星山**にて

1833(天保 4)年 山門再建 願主は**住道**

1847(弘化 4)年 経蔵建立

1859(安政 6)年 内陣奥行拡張 後門をつけ玄関を造営

1860(万延元)年 宗祖 600 回忌法要を執行 このころ**住行**が**二十三代住職**となる

1868(明治元)年 当寺が「天野」姓となる

1901(明治 34)年 **老郷栄慈**、**二十五代住職**となる

1910(明治 43)年 **天野勇**、**二十六代住職**となる

1913(大正 2)年 宗祖 650 回忌法要厳修

1946(昭和 21)年 梵鐘鑄造 鐘楼門建立

1949(昭和 24)年 蓮如上人 450 回御遠忌法要厳修

1962(昭和 37)年 宗祖 700 回御遠忌法要厳修

1974(昭和 49)年 **信行**、**二十七代住職**となる

2002(平成 14)年 蓮如上人 500 回御遠忌法要厳修

2016(平成 28)年 鐘楼堂改築

2017(平成 29)年 庫裡改築

2018(平成 30)年 宗祖 750 回御遠忌厳修

2019(令和元年) **健太**、**二十八代住職**となる

2. 西郷稠頼(像)と松平光重(像)について

室町時代、正楽寺付近に大草城(館)が築かれる

1455(康正元)年 大草城主、西郷弾正左衛門源稠頼、岡崎に進出 岡崎城(竜城)を築く
初代城主となる

1474(文明 6)年 稠頼死去 西之坊に葬る

1477(文明 9)年 岡崎城二代目城主、西郷弾正左衛門頼嗣死去
光重は頼嗣の娘婿となり岡崎松平の初代となる

1493(明応 2)年 頼嗣の子、信貞、大林寺建立

1494(明応 3)年 光重死去 当寺に墓、位牌、肖像画

1524(大永 4)年 岡崎城を安城松平家、清康にゆずり信貞、大草に隠居
清康はこれより安城から岡崎へ、現在の岡崎城の位置に建立

1528(享禄元)年 高力城主、熊谷兵庫入道実長死去 当寺に葬る
実長は熊谷直実(親鸞の弟子)より 14 代目 当寺に墓、位牌あり

1959(昭和 34)年 岡崎城再建

このころ初めて岡崎城を築いた西郷弾正左衛門稠頼が取沙汰され、
西郷家の墓を整備、標柱を建てる

1991(平成 3)年 松平紀伊守源光重像、町文化財の第一号指定となる

1999(平成 11)年 西郷稠頼像、町文化財の第十九号指定となる

なお二幅の肖像画については江戸期後半の作と推定されるが、なぜ当寺に(寄進され)
伝わっているのかは不明

3. 本堂、山門に関わった職人について

a. 本堂の絵図を描いた柴田新八郎貞英

柴田家は代々、本願寺に出入りする大工で、1798(寛政 10)年の東本願寺再建を担当
している 当時名匠として東西本願寺、井波別院瑞泉寺、本願寺派聞名寺等の大寺の
造営に携わっていた柴田が、なぜ正楽寺の絵図を描いたかは不明

b. 本堂、山門の大工棟梁、山本金四郎貞次

貞次は 1808(文化 5)年に造立された現本堂と 1833(天保 4)年に造立された現山門の
棟梁をつとめている 山本家は現在の知多郡阿久比町横松の住人で江戸時代後期から
末期に三代にわたって活躍した有名な堂宮大工である 貞次は 1809(文化 6)年の浄願
寺(西尾市)本堂、1823(文政 6)年の如意寺(豊田市)本堂、1831(天保 2)年の浄光寺(岡崎
市)本堂、1844(天保 15)年の慈光寺(岡崎市)鐘楼などの大工棟梁であったことがそれぞ
れの棟札で判明している

c. 山門の彫刻師早瀬勝蔵

早瀬一門は東本願寺や名古屋別院の建築彫刻を手掛けている 当寺では上記の山本
金四郎とも仕事を組むことが判明している

西郷清海入道（稠頼）



四つ割り桜に花菱



松平光重



松平紀伊守源光重像

三葉葵



